

[011]九州大学基幹教育院ラーニングアナリティクス センターNewsletter

<https://hdl.handle.net/2324/4763139>

出版情報 : LAC Newsletter. 11, pp.1-, 2022-12. Kyushu University Learning Analytics Center
バージョン :
権利関係 :



NEWSLETTER

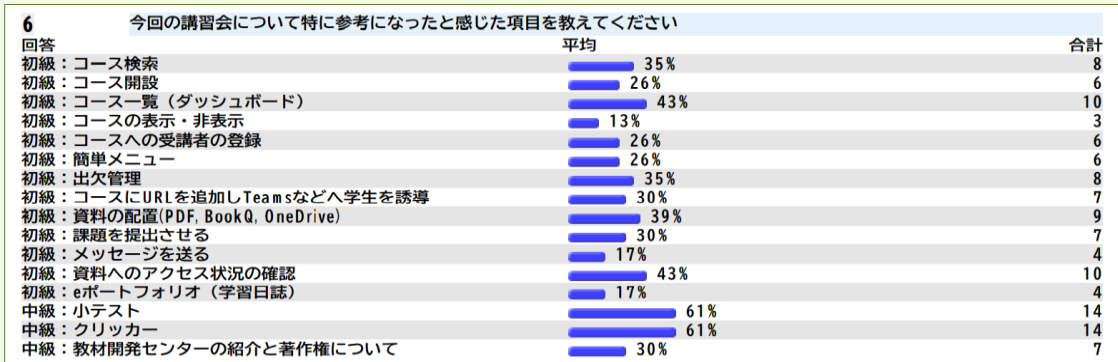
M2B(みつば)学習支援システム講習会(教職員用)を開催しました

2021年9月24日(金)に、M2B学習支援システム講習会(教職員用)を開催し、45名の方にご参加いただきました。今回は、初級編～中・上級編 授業での活用事例(小テスト・クリッカー・学習活動の把握)の内容で、具体的に授業内で活用する方法等を実践形式で体験していただきました。



講習会後アンケートを行いました

※一部抜粋



中級の「小テスト」「クリッカー」についての項目が参考になったとの回答が多く集まりました。

また、今回の対面とオンラインでの開催方法について「非常に良かった」「良かった」という回答が全体の87%でした。

2022年3月～M2Bシステム(Moodle, BookQ)窓口が変わります

九州大学学習支援システムM2Bは2022年3月以降一部機能についてサービスを終了、代替サービスを提供する予定となっております。また、今回の対面とオンラインでの開催方法について「非常に良かった」「良かった」という回答が全体の87%でした。

■Moodle：引き続きご利用いただけます。※ただし2022年度のご利用に関するお問い合わせは下記問い合わせ先までお願いします。

■Mahara：サービスを終了します。2022年3月以降はMaharaは利用できなくなります。ご自身の日誌の保管が必要な方はこれまでのデータを各自ダウンロードしご自身のPC等で保管をお願いします。保存方法は教職員用はこちら、学生用はこちらをご確認ください。

■BookQ：教材追加は2022年2月末まで可能です。2022年3月以降は1年間程度閲覧のみ可能です。BookQに替わる新しいデジタル教材配信システムについては詳細が決まり次第お知らせいたします。

	システム切替	
	2022年2月まで	2022年3月から
M2B学習支援システム		
Moodle (LMS)		引き続き利用可能
Mahara (e-Portfolio)	サービス提供終了	Moodleに導入予定の日誌プラグインで代替
e-Bookシステム	BookQへの教材登録終了	新システムのサービス提供開始 BookQは利用のみ可能
プログラミング学習環境		
仮想マシン管理システム		
仮想Windows環境		引き続き利用可能
仮想Linux環境	サービス提供終了	同等の処理系が搭載されているプログラミング学習環境で代替

【2022年3月以降のシステムについてのお問い合わせ先】
ラーニングアナリティクスセンター：inquiry@la.kyushu-u.ac.jp

M2B ワンポイントレッスン

【Moodle】グループごとのフォーラムを作成する

教員ロールでは、フォーラムの「モジュール共通設定」にて、あらかじめ設定していたグループごとのフォーラムを作成することができます。

(グループの設定方法は教師マニュアル2.4.3を参照ください)



<教職員ロール画面>

① フォーラムモジュールをクリックし、「モジュール共通設定」のグループモードを【分離グループ】に設定

他のグループモードの詳細に関しては教師マニュアル2.8.2を参照ください

② フォーラムのトピックを作成する際に、トピックを使用するグループを分離グループの選択欄で指定します。

(今回は例として、グループAの学生に対してフォーラムを設定)

▼ モジュール共通設定

利用 コースページに表示する

IDナンバー

グループモード **分離グループ**

グループピング なし

[グループ/グループピングアクセス制限を追加する](#)

フォーラム

分離グループ **グループ A**

[新しいディスカッショントピックを追加する](#)

件名

メッセージ

<学生画面>

グループAの学生のみ②で作成されたトピックの閲覧や投稿が可能です。

フォーラム

分離グループ:グループ A

[新しいディスカッショントピックを追加する](#)

ディスカッション

グループ

☆ グループAのフォーラム

グループ A

⚠ フォーラムタイプ『トピック1件のシンプルなディスカッション』では分離グループ機能は使用できません。

🍀 M2B事務局からのお知らせ

九州大学学習支援システムM2Bの2022年3月のシステム移行に伴い、授業評価アンケートシステムの担当窓口も変更となります。

maharaは2022年2月までに必要なデータを保管してください

これまでご利用された日誌は各自ダウンロードし保管する事ができます。

※MaharaのダウンロードデータをMoodleに移行できるわけではありません。

1 Maharaにログインする

Maharaへは、Moodleログイン後のリンクよりアクセスします。

Moodle(<https://moodle.kyushu-u.ac.jp/>)にアクセス、ログインした後、MoodleにリンクしているMaharaからログインできます。



「ネットワークサーバ」ブロック、または「[LINK]」ブロックの、Maharaへのリンクからアクセスしてください。



今後の代替機能として Moodleの日誌機能を Mahara廃止に関するマニュアルにて紹介しています。ご確認ください。

2 エクスポート

ポートフォリオのサイズによってはエクスポートに時間がかかる場合があります。

すべての処理が完了したら、ファイルがコンピュータに自動的にダウンロードされるかまたはファイルを保存するかを決定できます。

これらの操作は使用するブラウザの設定によってダウンロードされたデータの保存先は異なりますので、ご自身でご確認ください。

- Maharaホーム画面上の「☰」をクリックし、管理の中にある「エクスポート」をクリック
- エクスポートしたいフォーマットを選択
- エクスポートするデータを選択
私のデータすべて、プロフィールに保存されるすべてのアーティファクトとポートフォリオが保存されます。
いくつかのマイページのみ：エクスポートするページとそのページに含まれるアーティファクトを選択できます。
- 「コメントを含む」を選択し「エクスポートを生成する」をクリック



3 データの保管

ダウンロードしたファイルは、ご自身の管理下にて適切に保管してください。

※使用するブラウザの設定によってダウンロードされたデータの保存先は異なりますので、ご自身でご確認ください。



メンテナンス情報（期間中M2Bシステムは利用できません）

【システムの構成変更と移行に伴うサービス停止期間】対象：M2Bシステム他

2022年2月26日（土）～ 28日（月）（終日）

【定期メンテナンスに伴うサービス停止期間】対象：M2Bシステム

2022年3月7日（月）～ 9日（水）（終日）

※ただし、作業状況により利用停止期間は短縮する可能性があります。



M2Bシステム動作環境について

M2Bシステムは、動作環境以外では課題の提出、小テストの回答、出欠、ログの記録が残らないことがあります。必ず動作環境で利用してください。

M2Bシステム動作環境：Google Chrome・Firefox（Windows・Mac）※PCのみ



M2Bシステムの利用状況

M2B学習支援システムの利用者数

教職員15103名・学生34075名（累計）（2021年8月現在）



M2Bシステム利用授業数

Moodle	4170コース
Mahara	604コース
BookQ	926コース

